

第72期

# 中間事業報告書

平成21年4月1日から

平成21年9月30日まで

松本油脂製薬株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

さて、平成21年9月30日をもって終了いたしました第72期上半期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の事業の概況につき、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 事業の概況

昨年来の世界同時不況の中、各国が協調して財政投入を行ってきた結果、特に中国の内需拡大政策が功を奏し、世界経済を牽引するという形で各国の経済も持ち直しつつありますが、当中間連結会計期間における我が国経済は、依然として景気の底打ち感が見えてきておりません。

当社グループの重要な販売分野であります国内繊維産業におきましては、円高の進行とともに国際競争力が低下し、繊維事業からの撤退や生産拠点の海外移転や生産基地の統合を余儀なくされており、今後、高機能繊維しか国内に残らない図式が明確になってきております。また、海外繊維産業は、中国の内需拡大政策に伴い、現在までのところ斑模様ながらもほぼ不況前の水準に回復しつつあり、アジア地域及びその他の地域におきましても順調に持ち直してきております。

非繊維分野におきましても、国内は自動車的大幅減産や住宅の販売不振の影響を受けております。また海外ではアメリカのように自動車、住宅の販売不振が続いている国がある一方、中国、インド等は回復傾向にあります。

このような状況下、当社グループでは販売、利益を確保するため、国際競争力のある高品質、低価格商品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した新規商品の開発に努めてまいりましたが、国内市場の縮小と円高の進行により、前年実績を上回ることができませんでした。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高11,449百万円（前年同期比79.1%）、営業利益261百万円（前年同期比38.6%）、経常利益334百万円（前年同期比30.5%）、中間純利益197百万円（前年同期比31.3%）となりました。

・部門別の業績は、次のとおりであります。

- ① 界面活性剤部門における当中間連結会計期間の売上高は8,299百万円（前年同期比81.7%）、営業利益は171百万円（前年同期比37.2%）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内合繊メーカー各社の減産で関連製品の販売が減少しました。また、海外の汎用品はほぼ不況前の水準まで生産が回復してきておりますが、大幅な円高により、販売金額が減少し、売上高1,340百万円（前年同期比81.8%）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、消費低迷によるテキスタイル分野の加工量の減少や、炭素繊維の生産調整などの影響で処理剤の販売が減少しました。海外では、中国の内需拡大政策が功を奏し、工業用繊維分野、衣料用分野、弾性繊維ともに急速に回復してきておりますが、大幅な円高により、販売金額は減少しました。また、化学工業分野では化粧品原料の販売が増加しましたが、製品価格は低下傾向で、売上高6,557百万円（前年同期比81.1%）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、繊維全般の加工が縮小し、関連加工剤の販売が減少しました。化学工業分野での販売は増加しましたが、製品価格は下落傾向で、売上高402百万円（前年同期比91.2%）となりました。

- ② その他部門における当中間連結会計期間の売上高は3,150百万円（前年同期比72.9%）、営業利益は89百万円（前年同期比41.8%）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維関連では、織布関係が低迷し、製織用糊剤の販売が減少しました。非繊維関連では、化粧品原料が堅調に推移し、低迷していた自動車生産も回復の兆しが出てきており、ゴム成形品加工剤、熱膨張性マイクロカプセルの販売も回復傾向にありますが、建材関係は着工件数の低迷により、有機高分子製品の出荷が減少しております。

当連結会計年度の見通しにつきましては、売上高24,300百万円、営業利益550百万円、経常利益950百万円、当期純利益560百万円を目標として全社を挙げてより一層努力する所存でございます。

# 中間連結貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流 動 資 産</b>	27,061	<b>流 動 負 債</b>	6,522
現 金 預 金	14,771	買 掛 金	4,933
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	6,457	短 期 借 入 金	700
有 価 証 券	2,234	未 払 法 人 税 等	76
商 品 及 び 製 品	1,551	賞 与 引 当 金	116
仕 掛 品	390	そ の 他	696
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	1,066	<b>固 定 負 債</b>	338
繰 延 税 金 資 産	430	退 職 給 付 引 当 金	254
そ の 他	161	そ の 他	84
貸 倒 引 当 金	△3		
<b>固 定 資 産</b>	17,030	<b>負 債 合 計</b>	6,861
<b>有 形 固 定 資 産</b>	5,908	<b>純 資 産 の 部</b>	
建 物 及 び 構 築 物	2,855	<b>株 主 資 本</b>	37,719
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	2,285	資 本 金	6,090
土 地	531	資 本 剩 余 金	6,517
建 設 仮 勘 定	16	利 益 剩 余 金	26,852
そ の 他	219	自 己 株 式	△1,740
<b>無 形 固 定 資 産</b>	25	<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	△671
<b>投 資 其 他 の 資 産</b>	11,097	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△479
投 資 有 価 証 券	10,208	為 替 換 算 調 整 勘 定	△192
長 期 貸 付 金	162	<b>少 数 株 主 持 分</b>	182
繰 延 税 金 資 産	179		
そ の 他	555		
貸 倒 引 当 金	△8	<b>純 資 産 合 計</b>	37,230
<b>資 産 合 計</b>	44,092	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	44,092

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 △12,060百万円  
 2. 保証債務 298百万円  
 3. 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。  
 4. 1株当たり純資産額 3,639円10銭  
     1株当たり純資産額の算定上の基礎  
       中間連結貸借対照表上の純資産の部の合計額 37,230百万円  
       純資産の部の合計額から控除する金額  
         少数株主持分 182百万円  
         普通株式に係る中間期末の純資産額 37,048百万円  
         1株当たり純資産額の算定に用いられた  
         中間期末の普通株式の数 10,180千株

# 中間連結損益計算書

〔平成21年4月1日から  
平成21年9月30日まで〕

(単位：百万円)

科 目	内 訳 金 額	金 額
売 上 高		11,449
売 上 原 価		9,248
売 上 総 利 益		2,201
販売費及び一般管理費		1,940
営 業 利 益		261
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	150	
投資事業組合運用益	107	
その他の収益	80	338
営 業 外 費 用		
支払利息	4	
持分法による投資損失	15	
為替差損	239	
その他の費用	5	265
経 常 利 益		334
特 別 利 益		
投資有価証券売却益	4	
貸倒引当金戻入額	5	9
特 別 損 失		
固定資産除却損	0	0
税金等調整前中間純利益		343
法人税、住民税及び事業税	102	
法人税等調整額	33	136
少数株主利益		8
中 間 純 利 益		197

(注) 1株当たり中間純利益 19円43銭

1株当たり中間純利益の算定上の基礎

中間連結損益計算書上の中間純利益

197百万円

普通株式に係る中間純利益

197百万円

普通株主に帰属しない金額

一百万円

普通株式の期中平均株式数

10,181千株

# 会 社 の 概 況 (平成21年 9月30日現在)

## 1. 主要な事業内容

	品 目	用 途	主 要 製 品
界 面 活 性 剤 部 門	陰イオン界面活性剤	織 維 工 業	化合繊紡糸紡績油剤、チーズ用柔軟平滑剤
		農 薬 工 業	農薬防疫用乳化剤
		ゴ ム 工 業	防着、離型剤
洗 剤 工 業		食器、食品洗浄剤	
非イオン界面活性剤	織 維 工 業	化合繊紡糸紡績油剤、コーニングオイル、フィラメント	
		織布用経糸油剤、精練洗浄剤、染色助剤	
	鉄 鋼 金 属 工 業	圧延油、作動油、金属洗浄剤	
	製 缶 工 業	成型用油剤	
	樹 脂 工 業	合成樹脂用練込帯電防止剤	
	香 粧 品 工 業	乳化剤	
公 害 防 止 産 業	流出油処理剤		
陽・両性イオン界面活性剤	織 維 工 業	柔軟仕上剤、チーズ用柔軟平滑剤、永久通気性撥水剤	
	樹 脂 工 業	合成樹脂用帯電防止剤	
	香 粧 品 工 業	洗剤原料	
そ の 他 部 門	高分子・無機製品	織 維 工 業	経糸用糊剤、風合改良剤、繊維加工剤
		建 材 工 業	壁材用接着補強剤、軽量化充填剤
		機 械 工 業	合成ダイヤモンド
		電機・機械工業	磁性流体
		自 動 車 産 業	軽量化剤
		印 刷 工 業	インキ、塗料加工剤
		香 粧 品 工 業	触感向上剤、紫外線防止剤
		エレクトロニクス産業	感熱用薬剤、電池用多孔化剤
仕 入 商 品	建 材 工 業	リシン用基剤樹脂	
	織 維 工 業	経糸用糊剤	

## 2. 企業集団の営業所及び工場

### (1) 当社

営業所	大阪営業所	東京営業所	名古屋営業所
	広島営業所	金沢営業所	
工場	本社製造部門	静岡製造部 (袋井市)	
		大阪製造部 (高石市)	

### (2) 子会社

工場	インドネシア工場
----	----------

## 3. 取締役及び監査役

会社における地位	氏名
代表取締役社長	木村直樹
代表取締役専務	綿宏之
常務取締役	矢野真剛
常務取締役	増田俊明
常務取締役	葛谷幹男
常務取締役	高田武
常務取締役	木村芳樹
取締役	森下輝久
取締役	柚山博
取締役	渡邊潤
取締役	高橋修
取締役相談役	松本新太郎
常勤監査役	瀬川洋二
監査役	岩崎輝一郎
監査役	叶智加羅

(注) 監査役岩崎輝一郎氏、監査役叶智加羅氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役ではありません。

## 株 式 の 概 況 (平成21年 9月30日現在)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 発行可能株式総数 | 40,000,000株 |
| 2. 発行済株式の総数 | 11,281,629株 |
| 3. 大株主の状況   |             |

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
松 本 興 産 株 式 会 社	2,105,390株	20.68%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,058,246	10.39
木 村 直 樹	920,619	9.04
松 栄 産 業 株 式 会 社	867,423	8.52
有 限 会 社 木 村 直 樹	519,750	5.11
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	409,200	4.02
松 本 新 太 郎	318,725	3.13
岩 田 み ち 子	289,772	2.85
相 田 襄 治	225,775	2.22
木 村 芳 樹	216,188	2.12

(注) 当社は、自己株式1,101,078株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	500株
基準日	3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定める日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネット) (ホームページ) U R L	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
公告方法	大阪市において発行する「日本経済新聞」に掲載しております。
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所

### ※ご注意

#### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及び照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

#### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。